

学校再編だより

【大倉小学校】
-第1号-



令和元年7月23日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

大倉小学校の学校再編について 検討会議を開催します。

香取市教育委員会では、大倉小学校・津宮小学校・香取小学校の学区の保護者の皆さまを対象に、学校再編について意見をお聞きするため、「小学校再編に係る保護者アンケート」を昨年9月に実施し、その結果について、大倉小学校において、大倉小学校区の保護者の皆さまと意見交換会を本年5月に実施したところです。

（裏面にアンケート結果の抜粋があります。ご覧ください。）

今年度は、保護者アンケート及び意見交換会の結果をもとに「地域の代表」、「保護者の代表」、「学校関係者」で構成した『大倉小学校地域検討会議』を設置し、学校再編について検討を始めます。

なお、この会議は傍聴することができます。

日 時 令和元年8月9日(金) 午後7時から

場 所 大倉小学校 図工室

※会場内のスペースの関係により入場を制限することがございます。あらかじめご了承ください。

小学校再編に係る保護者アンケート 集計結果（大倉小学校区抜粋）

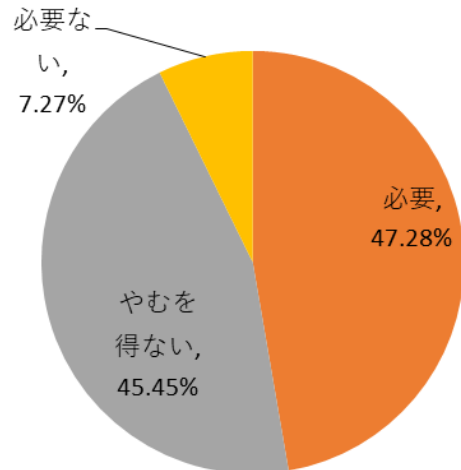
対象：大倉小学校区の児童の保護者及び就学前児童生の保護者

期間：平成30年9月5日～平成30年9月26日

回答数：55通 回答率：83.33%

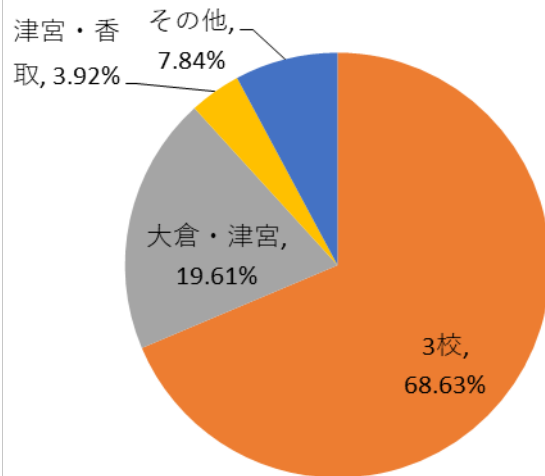
① 教育環境をこれからも維持・向上していくために、学校統合は必要だと思いますか。

		人	%
1	統合は必要だと思う （将来の統合も含む）。	26	47.28
2	統合はやむを得ないと思う。	25	45.45
3	統合は必要ないと思う。	4	7.27



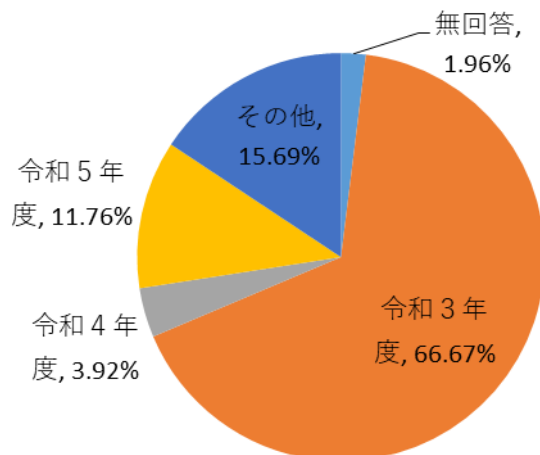
② 統合する場合、どのような統合が望ましいと思いますか。（①で1、または2と回答した人のみ）

		人	%
1	3校の統合（大倉・津宮・香取）	35	68.63
2	大倉小学校・津宮小学校の統合	10	19.61
3	津宮小学校・香取小学校の統合	2	3.92
4	その他	4	7.84



③ 統合する場合、その時期はいつ頃が望ましいと思いますか。（①で1、または2と回答した人のみ）

		人	%
1	令和3年度	34	66.67
2	令和4年度	2	3.92
3	令和5年度	6	11.76
4	その他	8	15.69
5	無回答	1	1.96



学校再編だより

【大倉小学区】
-第2号-



令和元年10月16日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

第1回大倉小学校 地域検討会議が開催されました

8月9日（金）午後7時から大倉小学校図工室において、大倉小学校地域検討会議が開催されました。

はじめに、これまでの学校再編の経過や、学校再編の流れについて説明があり、大倉小学校再編についての検討を進めるために地域検討会議を設置し、検討を始めることについて承認され、会長・副会長・理事が選任されました。

教育委員会から、香取市における少子化の現状や、小規模校の抱える課題、昨年度実施した保護者アンケートの結果などについて説明がありました。その後行われた意見交換では、統合の形態、統合までのスケジュールなどについて質問がありました。



第1回地域検討会議の様子

今後、大倉小学校の学校再編について検討をすすめ、意見をまとめていく事となります。

※皆様のご意見を各区長さんにお寄せください。

第2回大倉小学校地域検討会議は下記の日程で開催します。

日時 令和元年10月31日(木) 午後7時から
場所 大倉小学校 図工室

※この会議は、傍聴することができます。

学校再編だより

【大倉小学区】
-第3号-



令和元年11月26日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

第2回大倉小学校 地域検討会議が開催されました

10月31日（木）午後7時から大倉小学校図工室において、大倉小学校地域検討会議が開催されました。

会議では各委員が地域住民から聞き取ってきた意見等について報告があり、それを基に意見交換が行われました。

全体として大倉地区の子供たちのことを一番に考え、早期の統合を望む声が多くありました。

（会議での質疑内容は裏面に記載）



第2回地域検討会議の様子

大倉小学校の統合に関しては、各委員共通して必要との認識を持っていたため、**次回の会議にて、大倉小学校の学校再編について、大倉地域としての意見をまとめていきたいと考えています。**

※皆様のご意見を各区長さんにお寄せください。

第3回大倉小学校地域検討会議は下記の日程で開催します。

日時 令和2年1月9日(木) 午後7時から
場所 大倉小学校 図工室

※この会議は傍聴することができます。

会議での主な問答

Q. 小学校の小規模化には良い面もあるのでは？

小学校の小規模化においては、以下のようなメリット、デメリットが考えられる。

〈メリット〉

- ・教員の目が一人ひとりに行き届きやすい
- ・他の学年とのつながりが深まりやすい
- ・一人ひとりの活躍の場が多くなる

〈デメリット〉

- ・男女比の偏りが生じやすい
- ・児童からの多様な発言が引き出しにくい
- ・運動会、遠足等の集団行動の教育効果が下がる

さらに2つの学年を1つの教室で1人の先生により指導するという複式学級においては、以下のような課題が考えられる。

- ・兄弟姉妹が同じ学級になり指導上の制約を生じる可能性がある
- ・実験、観察など授業時間全体を使うような活動に制約が生じる

デメリットに関しては児童数に起因するものが多く、学校側の工夫等により対処できないものである。1学級20人程度、学校で120人を超える程度の規模を維持することで、小規模化によるメリットを生かしながら、マイナス面を小さくしていくことができると考えている。

Q. いつの統合を見込んでいるのか？

今年度の地域検討会議で、統合に向けて意見がまとまった場合、令和2年度に代表者会議を設置し、統合校の名称や場所、統合の時期等の基本的事項についての検討がなされる。そして令和3年度に統合準備委員会を設置し、学校運営に必要な各種具体的な内容の検討及び開校に向けた準備がなされる。令和3年度には同時に、必要に応じて施設の改修工事や駐車場の整備工事、また統合となる子供たちの事前交流が1年を通して行われ、令和4年度の統合を想定している。これはあくまで目安であり、議論の進捗等によって変わる可能性もある。

Q. 統合後のスクールバス運行は？

小学校の統合を実施してきているが、同様の通学支援を考えている。統合により通学距離が著しく伸びる児童に対して、無料のスクールバス運行による通学支援を行っており、小学校においては市独自の基準である「通学距離が2km以上」となる児童を対象としている。しかし、あくまで統合により通学条件の変わる児童に対する支援なので、統合の前と後で通う学校が変わらない児童に関しては、たとえ通学距離が2km以上であってもバス通学の対象としていない。

Q. 津宮・香取地区の会議の開催状況は？

香取地区においては10月10日に第1回会議が、11月22日に第2回会議が開催されている。津宮地区に関しては10月26日に第1回会議が、11月21日に第2回会議が開催されている。

学校再編だより

【大倉小学区】
-第4号-



令和2年2月25日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

地域検討会議の意向まとまる 「大倉小学校の統合に賛成 早期の統合を」

1月9日（木）午後7時から大倉小学校図工室において、大倉小学校地域検討会議が開催されました。

会議では、大倉小学校の再編について各委員から意見表明がなされ、意見の取りまとめが行われました。

取りまとめの結果、大倉小学校地域検討会議の意見としては「大倉小学校の統合に賛成。できるだけ早い統合を望む。」とすることで承認されました。



第3回地域検討会議の様子



理事会の様子

その後、2月10日（月）に理事会が開催され、これまでの検討内容をまとめた検討結果報告書の作成が行われ、教育委員会へ報告書が提出されました。

（裏面に報告書の抜粋版を掲載）

令和2年度に各校の代表者からなる代表者会議を設置し、学校名、統合校の位置、統合の時期、校歌、校章などの基本的事項についての検討が行われます。

裏面へ

香取市立大倉小学校地域検討会議 検討結果報告書（抜粋版）

〈検討結果〉

教育委員会が提案する「大倉小学校が統合すること」について、小学校は明治12年の創立以来、地域と共に歩んできた歴史と伝統があり、また地域のシンボルでもあることから閉校となることは非常に惜まれる。

しかし、人口減少・少子化の影響により、全学年が複式学級の編成基準に該当するまでに学校の小規模化が深刻な状況となっており、教育環境の改善が喫緊の課題となっているため、次代を担う子どもたちのことを最優先に考え、統合はやむを得ないと判断し、教育委員会の提案に「賛成」とする。

なお、教育委員会は、なるべく早期に統合が実現されるよう努めるとともに、統合に伴い、保護者が心配している事項の解消、各校の児童・保護者の一体感の醸成を図り、学校の統合が順調になされるように尽力されたい。

〈検討協議の概要〉

平成30年9月に大倉・津宮・香取の3小学校の再編について、保護者の意向を確認するため、3小学校の保護者及びその地区の就学前児童の保護者を対象としたアンケート調査が実施された。

大倉地区のアンケート結果に関して、大倉小学校の統合の必要性については、「必要」が47.28%、「やむを得ない」が45.45%、「必要ない」が7.27%であった。統合先については、「3校統合」が68.63%と一番多く、統合の時期については「令和3年度」が66.67%と一番多かった。

本アンケート結果を基に、令和元年5月に大倉小学校保護者と意見交換会が開催されたが、保護者から統合することに対する反対意見はなく、地域検討会議を設置して大倉小学校の統合に向けて議論を進めていくことが了承された。これに伴い、教育委員会からの要請により、地域の意向を集約するため、「大倉小学校地域検討会議」が設置された。

大倉小学校の児童数は平成31年4月現在38名で、全学年が複式学級の編成基準に該当しているものの、増置教員や講師の活用などにより弾力的な運用を図ることで、学年ごとの授業展開が出来る状況である。

地域検討会議では、児童数が減り続けている現状に対する不安の声が多く聞かれ、子どもたちの教育環境の悪化、その保護者における負担の増加が懸念されていた。また、仮に統合となった場合の通学方法について心配する声もあった。

教育委員会の説明では、統合により通学距離が著しく伸びる児童が安心安全に通学できるよう、スクールバスを運行する予定であり、市独自の基準である通学距離が2キロ以上となる児童を対象とするとのことであった。

また、学校の小規模化に関しては、一人の先生に対する児童の人数が少なくなることで、児童一人一人に対してより手厚い教育ができるのではないかと意見も出たが、その一方で「男女比の偏りが生じやすい」、「児童からの多様な発言を引き出しにくい」、「運動会、校外学習等の集団行動の教育効果が下がる」など、人数の規模に起因する教育上の問題点を抱えているとのことであった。加えて、子どもたちにとって、友達が少ないまま6年間を過ごすことがどうかと考えた時、それはとても寂しいことであり、また社会性や競争心といったものも培われていかないと考えられる。

これらの内容を踏まえ、検討結果の取りまとめを行った結果、大倉小学校が統合することはやむを得ないと判断し、教育委員会の提案に「賛成」とすることとなった。